

ハトの^{たまご}卵は、どれくらいでかえるの

^{たまご}卵をだいて17~18^{にち}日でかえる

ハトの^{たまご}卵は、^{おや}親が^{あたた}温めはじめてから17~18^{にち}日で、^うひなが生まれます。^{やせい}野生のキジバトや、^{まち}町でいちばんよく見る^みドバト、^{ひと}人に飼われている^か伝書バトなども、^{でんしょ}すべて同じです。

ハトは、^{こそだ}子育てがじょうず

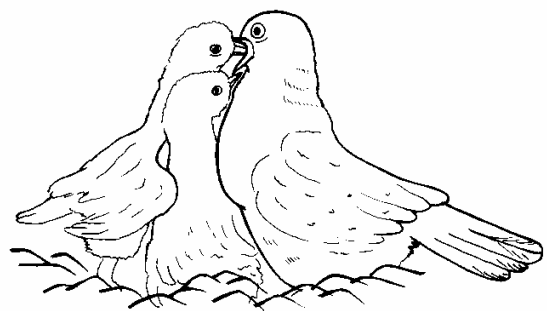
ハトは、^こふつう、^{たまご}2個の^う卵を産みます。^{たまご}卵を^{あたた}温めて、^{なが}かえすのも^{あいだ}じょうずです。^{なが}長い間、^{ひと}人に飼われているうちに、^{こそだ}子育てが^{とり}へたになってしまった^{おほ}鳥も^{おほ}多くいます。でも、ハトは、^{でんしょ}伝書バトも、^{こそだ}子育てが^{おや}じょうずですから、^{おほ}親に^{しんぱい}まかせておけば、^{しんぱい}心配ありません。

ひなは、^{そだ}ピジョンミルクで育つ

ひなは、^う生まれて20^{にち}日ぐらいますと、^{おや}親と^{おな}同じ^{おほ}くらい^{じぶん}の大きさに^{おほ}なり、^{じぶん}自分で^{えさ}えさを、^{につく}つつくよう^{にち}になります。^{にち}25日めぐらになると、^{かんぜん}完全に^{おや}親と^{おな}同じ^{えさ}えさを^た食べはじめます。そうなるまでは、^{りょうおやどり}両親鳥^{じぶん}が^{からだ}自分の^{なか}体の中^{つく}で作って^{そだ}あたえる、^{そだ}ピジョンミルクで^{そだ}育てられます。

^{やせい}野生のドバト

^{まちなか}町中に^{いちねんじゅう}すむドバトは、^{いちねんじゅう}一年中いつでも^{たまご}卵を^う産んで^{そだ}育てます。^{そだ}ひなが^{まえ}育ちきる^{まえ}前に、^{つぎ}次の^{たまご}卵を^う産んだりすることも^ああります。
(監修・今泉 忠明)



親からピジョンミルクをもらう子バト

